

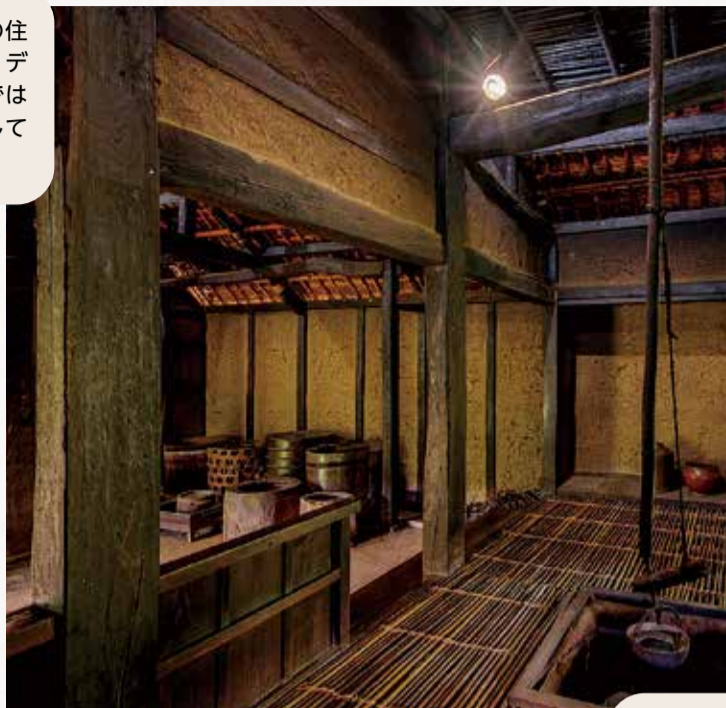


旧永井家住宅は農家の住居だと言われていて、デジタルミュージアムでは農具もたくさん紹介しているよ

唐箕(昭和10年)



【唐箕】ハンドルを回すとドラム内の板が回って風が起こり、上部の漏斗から穀物を入れると風力によって軽いゴミと重い実を選別することができる農具です。



【旧永井家住宅】17世紀後半に建てられた典型的な多摩丘陵の民家です。茅葺屋根の軒が深く、窓が少ない閉鎖的な構造が特徴で、国指定重要文化財に指定されています。



旧永井家住宅

デジタルミュージアムでは、3D技術を活用して、まるで実際に室内にいるかのように建物の中を見渡すことができるよ



野津田村絵図(天和2年)

【野津田村絵図】天和2(1682)年の野津田村を描いた町田市域に残る最古の絵図です。

地図をよく見ると薬師池や鶴見川が描かれているね
逆さまにして薬師池の辺りを拡大してみると、「福王寺池」と書かれているのが分かるかな
ため池として使われた薬師池は当時「福王寺池」や「福王寺溜井」と呼ばれていたんだ



町田デジタルミュージアムはこちら

4月1日から全面公開した「町田デジタルミュージアム」は、インターネットを通じて町田市の歴史を分かりやすく紹介しています。市が保管している考古・歴史・民俗資料を約2000点の画像(3Dやパノラマを含む)でご覧いただけます。
一部の縄文土器や、「まっくう」のモデルとなった中空土偶の空洞などを、実際に手に取って見ているかのように

3D画像を360度回転させて見ることが出来ます。
また、旧永井家住宅をはじめとした古民家と横穴墓(古墳時代のお墓)の3Dパノラマも見どころです。通常、横穴墓は穴の内部を公開していないため、中の様子を見ることができないのは町田デジタルミュージアムだけです。

町田デジタルミュージアム 724・2554

まっくうさんおすすめ！ デジタルミュージアムの楽しみ方

現代の人にも感じてほしい

リアル土器や当時の生活用品

歴史を肌で感じたい方や当時の道具を実際に見てみたい方は、ぜひ市内の展示施設にお越しください。

【考古資料】町田市考古資料室(下小山田町)

【開室日】7・8月=毎週土・日曜日、祝休日
上記以外=毎月第2・4土・日曜日、
祝休日(年末年始を除く)

【開室時間】午前10時～午後4時

【歴史資料】自由民権資料館(野津田町)

【開館時間】午前9時～午後4時30分
【休館日】毎週月曜日(祝休日の場合は翌日)

【民俗資料】三輪の森ビジターセンター内
郷土資料展示室(三輪町)

【開室時間】午前9時～午後4時
【休室日】毎週月曜日(祝休日の場合は翌日)



自由民権資料館

昔の人が残した

謎の遺物 クイズ

これは何のかたち？



ヒントは縄文人が好んで食べたもの

気になる答えは町田デジタルミュージアム(右記二次元バーコード)でチェックしましょう!



今も未来も大切に
町田市のSDGs

